

飛騨高山観光特集

春の飛騨高山で心身リフレッシュ

祭りと桜、飛騨高山は春爛漫

18万人の人数を見込む

飛騨路に春の訪れを告げる「春の高山祭(山王祭)」が4月14、15日、高山市内で開催される。高



ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」。絢爛豪華だ

日本三大美祭の一つに数えられて

高山祭は「春の山王祭」と「秋の八幡祭」(同10月9、10日開催)の総称。「山王祭」は城下町の南半分、氏神様である日枝神社(山王様)の例大祭で、上二之町・上二之町・上三之町などが舞台になる。

コロナ禍の影響で2020年は中止、21年は規模を縮小して開催。22年は例年通りを予定していたが、雨のため屋台の曳(ひ)き揃(そろ)えや御巡幸、夜祭りは中止になった。23年も15日の屋台行事が雨のため変更になったが、2日間の入出は16万8千人となり、コロナ禍前(19年)の18万2千人の9割まで回復した。昨年の入出は18万8千人ほどで、コロナ禍前の水準に回復した。今年も18万人の人数を見込んでいる。

今年「恵比須白」の修理も終わり、12台の絢爛豪華な屋台が蔵から出され、桜が咲き始める中、古い町並や中橋を通り、それぞれの場所へ曳き揃えられる。屋台曳き揃えやからくり奉納、夜祭り、御巡幸など見どころがいっぱいだ。

飛騨高山の春を彩るのが各地にある美しい桜。県指定天然記念物の庄川桜(庄川町)、国指定天然

心揺さぶる美の競演



西光寺の枝垂れザクラ

記念物の臥龍桜(二之宮町)など見応えのある桜が幸とく、幹の形が龍の臥した姿に似ている。今年、国指定天然記念物の西光寺の枝垂れザクラは、樹齢800年以上と推定される県下でも珍しい枝垂れ桜の巨木。ヒガンザクラの変種といわれ、毎年地表に覆い被さるように花を咲かせる。見ごろは4月下旬。

御母衣(みほろ)湖畔にある庄川桜はアズミヒガンザクラで、樹齢約500年といわれる。今は苔の湖底に沈んでしまった光輪寺と照蓮寺の境内にあった巨桜で、水没させるのはしのびないとして、現在の場所に移植された。見ごろは例年4月下旬から5月上旬で、満開後3日間はライトアップされる予定だ。

風情ある東山遊歩道

散策に最適

もう一つの名山

観光名所・古い町並から徒歩約10分、しっとりとした春の空気を漂わせるのが東山エリア。散策にはもってこいの場所だ。多くの寺院や神社があり、風情

ある建物や庭園をゆっくり巡れる「東山遊歩道」(全長5・5キロ)が整備されている。

高山の礎を築いた戦国武将の金森長近公ゆかりの禅宗寺院などが建てられ、東山寺院群が形成されている。遊歩道はそれら貴重な文化財を巡るルートでもある。

近年は長近公生誕500年にあたり、一般財団法人金森公顕彰会

飛騨山脈の自然に抱かれた奥飛騨温泉郷

個性豊かな五つの温泉地

日本一、100を超える露天風呂

雄大な自然をバックに、野趣あふれる露天風呂で心も体もリフレッシュできるのが飛騨山脈(北アルプス)の麓に広がる奥飛騨温泉郷

どの距離。湯量豊富で、露天風呂は大小合わせて100カ所以上あり、その数日本一といわれる。新穂高ロープウェイや上高地、乗鞍スカイラインなど日本屈指の山岳景勝地も近く、雄大な自然を満喫できる。

平湯温泉は温泉郷の中で一番古くからある温泉地。関東方面から

のアクセスも良く、上高地や乗鞍岳へのシャトルバスが発着する平湯バスターミナルがある。自家源泉を持つ宿が多く、入浴施設や足湯も充実。

福地温泉は温泉郷の中でも山の静寂に包まれた秘湯的な温泉地。温泉街には朝市があり、地元の特産品を買うことができる。飛騨地

域や新穂の古民家を移築、改装した宿も多い。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

個性豊かな五つの温泉地

日本一、100を超える露天風呂



漂流の側にある新穂高の湯

奥飛騨温泉郷で売られている湯巡り手形「奥飛騨湯けむり達人」が宿泊客に好評だ。豊富な湧出量を誇る奥飛騨の温泉を心ゆくまで楽しめる手形となっている。

手形は一枚1200円。手形に付いている3枚の入浴シールを利用して、温泉郷の13の加盟施設からお気に入りの温泉を選んで入浴できる(施設により枚数が異なる)。

シールをはがすと下地に温泉郷のマークが印刷されており、三つそろった記念品が当たるチャンスも。加盟施設や案内所で購入できる。

温泉郷や手形などに関する問い合わせは奥飛騨温泉郷観光協会(0578(89)2614)。

酒蔵めぐるのん兵衛まつり

6酒蔵が参加

ほろ酔い気分

うまい地酒がそろい踏み、古い町並が残る「さんまちエリア」の酒蔵を巡りながら、日本酒の試飲とまち歩きを楽しむ第6回「飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり」が6月5日から30日まで開催される。

主催は飛騨・高山観光コンベンション協会。

のん兵衛まつりは、100年以上の歴史をもつ平瀬、二木、平田、老田、船坂、原田の六つの酒蔵を

巡り、それぞれの日本酒を味わってもらう。これら酒蔵や中橋観光案内所、高山遊歩道バスセンターで「飛騨高山酒蔵セット」(3



酒蔵自慢のお酒でほろ酔い気分

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま水」もあり、名水の里ともいわれている。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

桶屋温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイナバヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新穂高ロープウェイ



2階建て Gondola から見る光景は壮観

「頂の森」は昨年10月に全面開業

飛騨高山ウルトラマラソン

6月8日開催

U25割替設定

標高差約5000m、日本屈指の難コースといわれ、フルマラソン完走経験者だけが参加できる「飛騨高山ウルトラマラソン」が6月8日に開催される。13回目。昨年は県内外から参加した3093人が100キロと71キロの2部門に分かれて出走し、2372人が完走した。海外からもエントリーがあったという。

コースは飛騨高山ビッグアリーナを発着点とする100キロと71キロをそれぞれ走る。また、酒蔵で買い物をする。千円ごとに押印され、集めた数でペア宿泊券(3万円相当)や飛騨牛(1万5千円相当)など豪華賞品が当たる抽選に参加できる。

「カモシカ」「シラヒン」コースは今年から新たにU25割替(6月8日時点で年齢が25歳以下)が設けられた。計3500人の参加を見込んでいる。観光名所古川町並を通り抜け、北アルプスを望む山岳地帯へ、沿道に設けられたエイドステーションでエネルギーを補給しながらゴールを目指す。制限時間は100キロ14時間71分、71キロ7時間11分以内と設定されている。

参加資格は大会当日18歳以上で、フルマラソン完走経験のある健康な男女。参加費は100キロ部が2万2千円、71キロ部が1万8500円。U25はそれぞれ1万7000円、1万4800円。地元ボランティアのおもてなしと飛騨牛など地元特産品を堪能できるエイドも楽しみみの一つ。

問い合わせは大会事務局(0120-846-024)。

スワラ」の三つの体験コースがお勧め。シラヒンコースは布引滝やわさび平温泉、雄池などを見ることのできる。距離7・3キロ、約90分。コースは、ツアー(5月20日、10月31日)もある。予約問い合わせは五色ヶ原の森案内センター(0577(79)2280)。

森林浴で健康に

自然豊かな「五色ヶ原」

3体験コース

ツアーも設定

雄大な乗鞍岳の裾野に広がるのが「乗鞍山麓五色ヶ原の森」。中部山岳国立公園の南端にある約3千坪の広大な森林地帯だ。ブナや

ミズナラなどの広葉樹林、シラヒンなどの針葉樹林が主体となり、可憐な花を咲かせる希少な山野草も多数確認されている。

また、乗鞍岳を源とする多くの溪流と滝、温泉もあり、四季折々、自然の多彩な表情を見ることができ

る。「カモシカ」「シラヒン」コ

ースは今年から新たにU25割替(6月8日時点で年齢が25歳以下)が設けられた。計3500人の参加を見込んでいる。観光名所古川町並を通り抜け、北アルプスを望む山岳地帯へ、沿道に設けられたエイドステーションでエネルギーを補給しながらゴールを目指す。制限時間は100キロ14時間71分、71キロ7時間11分以内と設定されている。

参加資格は大会当日18歳以上で、フルマラソン完走経験のある健康な男女。参加費は100キロ部が2万2千円、71キロ部が1万8500円。U25はそれぞれ1万7000円、1万4800円。地元ボランティアのおもてなしと飛騨牛など地元特産品を堪能できるエイドも楽しみみの一つ。

問い合わせは大会事務局(0120-846-024)。

スワラ」の三つの体験コースがお勧め。シラヒンコースは布引滝やわさび平温泉、雄池などを見ることのできる。距離7・3キロ、約90分。コースは、ツアー(5月20日、10月31日)もある。予約問い合わせは五色ヶ原の森案内センター(0577(79)2280)。



森林浴で健康に